

令和6年度
山形市社会福祉審議会
地域福祉専門分科会

日 時：令和7年3月18日（火）
16時00分～
場 所：山形市役所11階
大会議室

次 第

1 開 会

2 専門分科会長挨拶

3 副分科会長の選任

4 議 事

(1) 協 議 事 項

重層的支援体制整備事業における地域づくりの事業評価について

- ・我が事・丸ごと地域づくり推進事業 … 資料1
- ・地域福祉推進会議開催費補助金 … 資料2

5 閉 会

山形市社会福祉審議会地域福祉専門分科会委員名簿

任期:令和4年4月1日～令和7年3月31日

【敬称略】

	氏 名	勤務先・所属団体
分科会長	都 築 光 一	東北福祉大学総合福祉学部 教授
	今 野 厚 志	社会福祉法人山形市社会福祉協議会 会長
	柴 田 邦 昭	一般社団法人山形県社会福祉士会 業務執行理事
	高 野 則 夫	山形市民生委員児童委員連合会 会長
	田 中 教 仁	山形市自治推進委員長連絡協議会 金井地区自治推進委員長
	仲 野 邦 明	山形市地区社会福祉協議会会長連絡協議会 会長
	増 川 州 宏	山形市身体障害者福祉協会 会長

【事務局】

氏 名	所 属
松 浦 雄 大	山形市福祉推進部長
鈴 木 伸 治	山形市福祉推進部次長(兼)生活福祉課長
齋 藤 健 二	山形市福祉推進部生活福祉課長補佐
市 村 紀 子	山形市福祉推進部生活福祉課長補佐(兼)地域福祉係 長
市 川 孝 之	山形市福祉推進部生活福祉課企画係長
佐 藤 美 穂	山形市福祉推進部生活福祉課企画係主幹
中 村 樹 知	山形市福祉推進部生活福祉課地域福祉係主査
福 島 七 海	山形市福祉推進部生活福祉課企画係主事

我が事・丸ごと地域づくり推進事業

1 経過

山形市では、令和4年度から重層的支援体制整備事業を実施し、令和3年度までの我が事・丸ごと地域づくり推進事業のうち、「多機関の協働による包括支援体制構築事業」は「福祉まるごと支援事業」として新たに実施。「地域の様々な相談の受け止め・地域づくり」は、重層的支援体制整備事業の地域づくり事業（生活困窮者支援等のための地域づくり事業）に位置づけ、「我が事・丸ごと地域づくり推進事業」として実施。

2 事業開始

平成29年10月（山形市社会福祉協議会に業務委託）

3 事業内容

- (1) 「住民に身近な圏域」において、地域住民等が主体的に地域生活課題を把握し解決を試みることができる環境の整備として、①地域づくりに向けた支援、②地域住民等が相互に交流を図ることができる拠点の整備、③地域住民等に対する研修の実施、④その他「住民に身近な圏域」において、地域住民等が主体的に地域生活課題を把握し解決を試みることができる環境の整備にあたり必要な取組
- (2) 「住民に身近な圏域」において、地域生活課題に関する相談を包括的に受け止める体制の整備として、①地域住民の相談を包括的に受け止める場の整備、②地域住民の相談を包括的に受け止める場の周知、③地域の関係機関等との連携による地域生活課題の早期把握、④地域住民の相談を包括的に受け止める場のバックアップ体制の構築

4 地区への助成

- (1) 新規実施拠点
40万円
- (2) 前年度からの継続実施拠点
10万円

5 発展計画2025における目標と現在の活動拠点

(1) 発展計画2025（令和2年3月策定）における目標

「発展計画2025」 3 地域共生社会の実現（抜粋）

〈重点政策目標〉

目標名	現在値（策定時）	目標値（R6年度）
「我が事・丸ごと地域づくり推進事業」における実施拠点数（年間）	19 拠点	41 拠点

(2) 現在の活動拠点

21 地区 23 拠点

活動拠点及び活動状況は別途記載

6 前回のご意見

・事業回数が同程度なのに地区によって相談件数が違う、事務負担が重いなど。

→件数については地区によって民生委員の訪問等での回数を含めてカウントしている場合があるため、カウントの仕方について再度確認していく。

→事務負担については、受託者である山形市社会福祉協議会と引き続き軽減に向けて検討を行っていきたい。

7 課題

・地区の役員の担い手育成や申請等に係るサポート体制の構築。

・会場や交通費、開催する際の負担の軽減など運営上の課題への対応。

・事業の形骸化。本来の事業目的の再確認の必要性。

・新規拠点の立ち上げ実績が令和5年度に続き、令和6年度も0拠点となっている。

8 今後の進め方

受託者である山形市社会福祉協議会とも連携し、全30地区での実施を目指し取り組んでいく。将来的には、市内60拠点ほどの設置が必要と考えている。

事業実施について地区の理解が必須となるため、未開設地区へ市職員と市社協職員が一体となって説明会の場を設ける等、サポート体制の強化を含めた新たな働きかけを検討していく。併せて、事業が形骸化している地区への対応も検討していく。

また、要件（月8回以上）を満たさない、以前から地域において相談を受ける場を設けるなど我が事丸ごと地域づくり推進事業と同様の活動を行っている事業について、みなし拠点として取り扱うことを検討する。

■ 2 3 拠点及び取組状況（令和6年度12月実施分まで）

	実施 地区 (立ち上 げ年度)	活動拠点	令和6年度の取り組み状況	事業 開催 数 (件)	相談 件数 (件)	(参考) 相談件数 内訳		
						地区 で解 決	専門 職等 への つな ぎ	地 域 で 対 応 中
1	第六 (H29)	南栄町会 館	定期的に百歳体操やスポーツ吹矢・卓球、筆の学校(書道教室)、健康ウォーキング、スローエアロビを行う。ボランティア養成講座や認知症予防講座等開催。活動日にあわせて、住民の困り事などの相談に応じる。また、月一回福祉まるごと出前相談を実施、専門職と連携して専門相談の対応を図るなど更なる事業の充実をすすめる。	131	84	77	1	6
2	第十 (H29)	やよい集 会所	定期的に百歳体操、認知症カフェ、サロン活動や三者懇談会、丸ごと相談会等を開催する。事業開催日や活動日と併せて住民の相談も受付ける。また、アウトリーチ(訪問活動)においても住民の困りごとの把握をすすめる。地区内病院・福祉施設・薬局・学校等の連携促進により活動の充実化や認知症カフェ開催もすすめる。	275	335	275	180	0
3	鈴川 (H29)	鈴川コメン ティ	関係機関・団体と連携を図り、高齢者の集い、世代間交流事業、敬老会、百歳体操等を実施する。いきいきと安心して暮らせる地域作りに務める。また、町内会と連携を図り相談体制を構築。センターに相談箱を設置相談を受ける。専門職による住民の相談を受付ける。	60	56	56	0	0
4	第二 (H30)	双葉町公 民館	公民館で毎週火曜日に百歳体操やサロン活動を実施するほか、毎週月曜日に歩こう会を実施。また、町内会長、民生委員児童委員、福祉協力員が交代で住民の困り事などの把握をすすめる。	309	149	102	50	0
5	第三 (H30)	北部公民 館 神池会館	「さん♡さんカフェ」やサロン活動のほか、認知症サポート養成講座・介護予防・介護者技術講習会、担い手養成講座等を実施。各町内会のサロンや民生委員児童委員、福祉協力員活動の中で住民の困りごとの把握をすすめ専門職との連携も図る。また、相談室の開設の立上げをすすめる。	631	20	9	5	6

6	東沢 (H30)	東沢コミセン	訪問配食事業、百歳体操や各種サロン開催、介護予防教室、認知症サポーター養成講座、防災福祉講座開催。町内会との連携強化。相談ポストの継続設置。見守り訪問活動等をとおして住民の困りごとなどの把握をすすめていく。	209	104	45	0	59
7	出羽 (H30)	出羽コミセン、23区幸町公民館	百歳体操・サロン活動や歌おう会、お茶のみ会、高齢者向けの健康講座、女性活性化の集い等を実施する。各拠点巡回して健康相談の実施をすすめる。「子育ておしゃべりサロンでわ」・子供食堂と連携し、相談を受ける体制をとる。新体制による円滑な事業の推進を図るため専門職との連携を強化していく。	70	3	2	1	0
8	樫沢 (H30)	樫沢コミセン上樫沢、下樫沢、西原	各団体との連携を図りながら、百歳体操、活動、グラントゴルフ等を実施する。災害時の対応に向けて団体間連携を深める。事業開催や活動の機会や見守り訪問活動をとおして住民の困り事などの把握をすすめ、必要に応じて専門機関へつないでいく。我がごと丸ごとの拠点を一同に会しての検討会を開催する。	112	50	25	7	18
9	村木沢 (H30)	村木沢コミセン地区集会所	百歳体操、サロン活動等を定期的に実施。サロン実施している集会所をサブ拠点と位置付け、開催にあわせて相談に応じる体制をとり対応する。相談員については民生委員児童委員、地区社協役員を中心に構成し、毎月、専門職をメンバーに入れた相談会を開催し、住民の困り事などの把握及び対応をすすめていく。	134	2	1	0	1
10	南沼原 (H30)	南館ふれあい会館	百歳体操、サロン活動やふれあいカフェ等を開催する。介護予防、健康講座、防災研修、パソコン教室講座開催。ふれあい館の管理人が住民や利用団体とのコミュニケーションを図りながら、困りごとなどは各種相談機関に迅速につなぐようにする。世代間や介護者等の対象を拡大した取り組みに向けて事業を開催していく。	176	151	87	42	22
11	第八 (H30)	東部公民館 小白川三区集会所 他	各自治会や地区社協でいきいきサロン、友愛訪問、子育てサロン、百歳体操等を実施。相談を受付ける。交通安全や健康に関する講座の開催も企画したい。地域で解決困難な場合は専門機関につなぐ。	160	72	42	28	1
12	第一 (R1)	Q1	各町内でサロン活動を実施するほか、毎週金曜日に百歳体操と月一回の第3木曜日に子育てサロンを実施。また、偶数月にはおれんじカフェを開催。Q1多目的ホール倉庫の修繕もあり相談室を活用した個別面談・相談支援の充実等を図る。	66	7	2	4	1

13	第四 (R1)	小橋町公民館	いきいきサロン（12ヶ所）、子育てサロン開催。三者懇談会を24町内会で開催。各町内会やサロンを中心として、身近な地域で見守り、居場所・拠点作り、また、相談できる仕組みづくりを進める。住民に対しての活動広報の強化を進める。さらに各町内会でのボランティア育成を通し支え合い隊、ちょいぼう活動の立上げを目指す。	233	22	17	5	0
14	第七 (R1)	肴町一区公民館 城北公民館 肴町二区公民館	各拠点で定期的に百歳体操、いきいきサロン等を実施するほか、健康講座、交通安全講話、消費生活関連講座の開催をすすめる。その活動時にあわせて住民の困り事などの相談を受付ける。また、民生委員児童委員や福祉協力員の見守り活動を相談体制としても位置づけて住民の声相談を受付ける。	235	14	12	2	0
15	金井 (R1)	金井コミュニティ集会所（11）	百歳体操、サロン活動等を定期的実施。地区社協主催のカフェも開催を進める。活動を通して、地区内住民がより多く参加する機会を設けるとともに、気軽に相談できる体制づくりを進める。従来の活動に加え健康講座や担い手養成につながる事業開催を進める。	178	140	126	28	15
16	明治 (R1)	明治コミュニティ集会所（6）	定期的開催しているはあとの会、サロンの開催時やM-1（百歳体操）の休憩時間等を活用しながら相談に応じる体制をとる。参加者の増など事業の活性化を目指していく。	86	8	4	0	4
17	飯塚 (R1)	飯塚コミュニティ集会所（5）	二十日会や百歳体操等、各種サロンなどを定期的実施。健康講座、認知症講座、勉強会等開催する。民生委員児童委員と福祉協力員の訪問による相談体制に加え各事業の開催後に生活の相談を受付ける。相談内容は必要に応じて市社協及び包括支援センターへ繋ぐようにする。	61	33	27	7	0
18	蔵王 (R1)	成沢公民館 高田自治会館 成六集会所	各種サロン、みんなの食堂などを定期的実施する。また、各町内会ごとに相談窓口を設けて、困りごとなどの把握と解決を図る。各町内会、各種団体の横のつながりを強化や地区全体への事業の周知をすすめサロンを実施していない町内会での立上げを進める。	204	0	0	0	0
19	滝山 (R2)	鳥居ヶ丘南二番町 南ヶ丘青田1、2	各拠点でいきいきサロン、百歳体操、老人クラブ、趣味の会、介護予防の集い、健康講座等を開催する。また、三者連携による見守り活動を通し、住民の声を集める。相談活動の定着化や今後の拠点拡大に向けての検討を進めていく。交流事業の充実と参加者の拡大。	196	126	75	42	9

20	南山形 (R2)	南山形コミ ン 集会所 (11)	百歳体操、いきいきサロン、子育てサロンを定期開催するほか、どんなときでもいきいき生活講座や福祉力向上のための福祉道場の開催する。こんにちは赤ちゃん訪問や高齢者世帯訪問による状況確認をすすめ、月1回、相談の集約や解決のに向けた検討会（つむぐ会）を開催していく。	247	177	159	48	11
21	第十 (2 拠点 目) (R2)	第十地区 福祉会館 山形市総 合福祉セ ンター 霞城公民 館	定期的に百歳体操、サロン活動や三者懇談会を実施する。事業開催や見守り訪問活動をととして住民の生活課題の把握をすすめ、課題の検討や対応を図る。また、介護予防教室の開催や地区内の学校との連携強化をすすめる。	101	25	14	11	0
22	鈴川 (2 拠点 目) (R2)	印役連合 集会所 印役連合 花楸集會 所	高齢者の集いや世代間交流、三者懇談会、百歳体操、カラオケなどを定期的実施する。住民の困りごとを早期に発見、早期対応できる環境整備をすすめていく。また、担い手育成に向けた取り組みを実施していく。	89	42	32	2	8
23	大郷 (R4)	船町集會 所 天神町集 會所 いきい きの郷	百歳体操、いきいきサロン、老人クラブ活動及び交流レクリエーションや健康講座、ボランティア養成講座等各種講座を実施する。報告書をもとに、必要に応じて、町内会や民生委員児童委員とも共有を図る。	89	17	10	7	0

	相談受付 件数	相談経路			相談内容					終結した数			
		本人	住民	その他	高齢	障がい	子育て	経済困窮	その他	住民対応 (傾聴・助言・代理)	関係機関につ ないだ	相談支援包括 化推進員につ ないだ	死去・連絡途絶 えた等
4月	165	74	66	25	87	11	11		84	116	18	25	
5月	153	68	41	43	85	8	25	3	56	103	18	18	
6月	183	111	70	41	124		11		66	122	15	39	
7月	189	92	75	22	127	10	20	1	54	152	21	19	2
8月	162	64	61	41	101		13	2	57	127	24	36	2
9月	188	101	55	32	109		27	2	78	146	37	0	4
10月	198	88	82	24	121	3	16		76	152	30	0	
11月	164	87	56	19	101		18		59	133	17	33	
12月	235	135	69	28	167		19	1	49	144	18	23	
1月	0												
2月	0												
3月	0												
	1,637	820	575	275	1,022	32	160	9	579	1,195	198	193	8

※相談受付件数内訳は、相談内容等が多岐にわたる事もあり、重複カウントしているため差異が生じている。

■地区ごとの事業実施数及び相談件数の内訳

1 実施期間 令和6年4月～令和6年12月

2 実施地区 第一・第二・第三・第四・第六・第七・第八・第十・鈴川・出羽・金井・明治・飯塚・樫沢・東原・南沼原・蔵王・村木沢・滝山・南山形・大郷の21地区

事業	第一		第二		第三		第四	
	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数
いきいきサロン	1	15	43	700	90	850	42	452
百歳体操等	37	720	0	0	118	1,227	41	415
子育てサロン	8	243	10	120	9	157	0	0
その他事業	3	42	255	1,395	367	5,059	132	1,469
打ち合せ、会議	17	203	1	12	47	909	18	123
合計	66	1,223	309	2,227	631	8,202	233	2,459
相談件数	7		149		20		22	

事業	第六		第七		第八		第十	
	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数
いきいきサロン	17	344	22	348	13	351	9	205
百歳体操等	28	551	89	1,103	18	189	27	315
子育てサロン	0	0	0	0	8	230	5	22
その他事業	85	925	90	1,538	101	1,250	178	1,434
打ち合せ、会議	1	12	34	537	20	172	56	1,175
合計	131	1,832	235	3,526	160	2,192	275	3,151
相談件数	84		14		72		335	

事業	鈴川		出羽		金井		明治	
	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数
いきいきサロン	0	0	0	0	13	209	0	0
百歳体操等	35	920	30	405	12	302	4	30
子育てサロン	4	57	0	0	13	212	0	0
その他事業	5	212	39	333	125	3,254	82	893
打ち合せ、会議	16	484	1	6	15	229	0	0
合計	60	1,673	70	744	178	4,206	86	923
相談件数	56		3		140		8	

事業	飯塚		樫沢		東沢		南沼原	
	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数
いきいきサロン	51	1,131	3	70	65	1,144	6	158
百歳体操等	0	0	50	760	8	102	26	327
子育てサロン	9	283	10	161	14	106	0	0
その他事業	1	37	45	240	105	551	136	937
打ち合せ、会議	0	0	4	48	17	36	8	54
合計	61	1,451	112	1,279	209	1,939	176	1,476
相談件数	33		50		104		151	

事業	蔵王		村木沢		滝山		南山形	
	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数
いきいきサロン	59	807	71	592	12	256	107	1,684
百歳体操等	0	0	45	559	17	173	35	2,140
子育てサロン	13	78	5	72	2	15	23	325
その他事業	129	2,254	5	71	136	1,995	28	497
打ち合せ、会議	3	118	8	107	29	373	54	492
合計	204	3,257	134	1,401	196	2,812	247	5,138
相談件数	0		2		126		177	

事業	第十②		鈴川②		大郷	
	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数
いきいきサロン	4	107	7	67	31	220
百歳体操等	36	476	26	292	41	296
子育てサロン	9	144	0	0	0	0
その他事業	48	453	35	727	17	124
打ち合せ、会議	4	59	21	371	0	0
合計	101	1,239	89	1,457	89	640
相談件数	25		42		17	

事業	合計	
	回数	参加人数
いきいきサロン	666	9,710
百歳体操等	723	11,302
子育てサロン	142	2,293
その他事業	2,147	25,690
打ち合せ、会議	374	5,520
合計	4,052	54,515
相談件数	1,637	

■相談事例、活動報告の一例

○ 地域で解決した例

- ・高齢者世帯のごみ出し支援
- ・高齢者世帯の除雪ボランティア
- ・聴覚障がい者の方々が百歳体操に参加しているため、手話を覚えたいとの声を受け、聴覚障がい者サロンの方から来ていただき手話を習うことができてよかった。
- ・空き家となっている植木問題について、家主に連絡し、ボランティアで役員が剪定した。

○ 専門相談機関等につないだ例

- ・50代の息子が80代の両親と同居。対人関係がうまく築けないため就職できず将来が心配。市社協につなぎ就職先を探している。
- ・生活保護受給者。今月の生活費不足の相談あり。市担当者へ相談するように教示した。
- ・数年前から単身高齢者女性の買い物援助を行っていたが、この度、転倒し脚を痛めた。これを機に買い物援助を断りたいがどうしたらよいか相談を受ける。民生委員に連絡し福祉専門職へつないだ。
- ・日常生活に不安を持つ単身高齢者の方を包括支援センターへつないだ。
- ・福祉協力員より包括支援センター職員と一緒に高齢者宅の訪問をしたいとの提案。
- ・母子家庭の方の体調が心配で、生活も困窮しているように感じた。公的機関と福祉の専門職につないだ。
- ・家族との関係について本人より相談を受け、まると相談につないだ。
- ・要介護認定は受けるつもりはないが、健康等で相談したい。包括支援センターに相談に行ってもよいのか聞かれたため、65歳以上の方であればなんでも相談可能であると伝えた。

○ 傾聴・見守りの継続等

- ・高齢者の安否確認・情報交換
- ・買い物支援等
- ・空き家問題
- ・生活困窮者の把握
- ・家族の介護疲れ、育児疲れ（サロンへ参加し気分転換になった）
- ・障がい者の方やグループホームへの支援について町内会でできることを相談
- ・児童支援について相談

■活動風景一例



市役所の窓口に来なくても地域の身近な場所で困りごとや相談ごとを受け付け、必要に応じ関係機関につなぐために、地区の理解を得ながら既存のいきいきサロンや百歳体操、子育てサロン等を活用している。

1 地域福祉推進会議とは

各地区の地区社会福祉協議会役員、町内会役員、民生委員・児童委員、福祉協力員、福祉関係者などが参加し、各地域における福祉の現状や生活課題を共有し、その解決に向け、住民みずからが地域福祉活動に取り組んで行くことを目的として開催するもの。

2 令和6年度の地域福祉推進会議開催状況

地区	開催日	内容	参加者
第一	10月23日	- 講演「地域防災力を高める！」～地域のつながりをつよくするために～ - 講師 山形市総務部防災対策課 自主防災アドバイザー佐藤明氏 - 協議	地区社協役員、町内会長、民生委員児童委員、福祉協力員 約 50 名
第二	8月22日	「地域でいつまでも元気で暮らしていくために」～介護予防・健康づくり・地域活動への参加～ 協議 「より多くの人が第二地区の社会資源と繋がり、社会参加できるようになるには」	地区社協役員、町内会長、民生委員児童委員、福祉協力員、福祉事業所、薬局 約 100 名
第三	11月30日	「人生会議について」 講師 銅町訪問診療やまがた 院長 奥山信一郎先生	地区社協役員、町内会長、民生委員児童委員、福祉協力員 約 90 名
第四	2月22日	『災害に備える地域の助け合い～「地図を使った災害時の助け合い」を体験しよう～ - 講師 ウェザーハート災害福祉事務所 千川原公彦氏 - グループワーク マップ作り体験	町内会長・自治推進委員、民生委員児童委員・主任児童委員、福祉協力員、町内防災関係者 約 120 名
第五	11月9日	「福祉のまちづくり活動のヒントー活動事例紹介をとおしてー」 - 講師 山形市社会福祉協議会 「ろう者が日常生活で困ることあるある」 - 講師 サークル「手話っち」	町内会長・自治会長、民生委員児童委員、福祉協力員、施設・団体 約 90 名

地区	開催日	内容	参加者
第六	8月7日	・山形市高齢者保健福祉計画の概要説明、第六地区の状況説明（市） ・第六地区の現状説明（地域包括支援センター長、生活支援コーディネーター） ・協議～伸ばそう“健康寿命”	地区社協役員、町内会長、民生委員、福祉協力員 74名
第七	3月21日 （予定）	地域の困りごとから、ゴミに関する問題について、市ごみ減量推進課に講師依頼し、講義いただく予定。	町内会長、民生委員 児童委員、福祉協力員
第八	11月9日	・「避難所運営ゲーム体験を通し、みんなで考え実践力を伸ばそう」 講師 山形大学地域教育文化学部 児童教育コース 災害環境科学研究センター 石垣和恵 様	自治会役員、民生委員児童委員、福祉協力員、地区社協事務局 52名
第九	6月9日	「三者懇談会について」 講師 生活支援コーディネーター ・各町内に分かれてグループワーク	地区社協役員、町内会・自治会役員、民生委員児童委員、福祉協議会等 約40名
	2月2日	「地区防災について一緒に考える」 ・講師 山形市防災対策課 市防災支部兼北部公民館市避難所所長北部公民館事務長	地区社協役員、町内会・自治会役員、防災会関係者、民生委員児童委員、福祉協議会等 約60名
第十	8月16日	高齢者福祉保健計画住民懇談会と以下の3テーマでグループに分かれての情報交換 A. 介護予防のためにこれから取り組みたいこと B. こもりがちな人の外出を多くするには C. 食べたり飲んだりして気にかかること	町内会役員、民生委員児童委員、福祉協力員、老人クラブ等各種団体、地区社協役員、一般住民等 118名
	2月5日	「楽しく！おいしく！SUKSK生活」 ～お口と栄養のお話～ 講師 山形市健康増進課より管理栄養士および歯科衛生士 ・各町内に分かれてグループワーク 「誰に何をどんな風に伝えるか」	町内会役員、民生委員児童委員、福祉協力員、老人クラブ等各種団体、地区社協役員等 98名
鈴川	2月15日	「うそ電話詐欺から高齢者を守ろう」 講師：山形警察署生活安全課係長 藤田周平様 ・意見交換会	町内会役員、防犯協会、地区社協役員、一般住民等

地区	開催日	内容	参加者
千歳	7月7日	・令和6年度千歳地区共生社会づくり事業について ・「避難行動支援制度について」 講師 山形市総務部防災対策課 係長 奥山浩行様 ・区長、民生委員児童委員、福祉協力員による三者懇談会	区長、民生委員児童委員、福祉協力員、地区社協役員 82名
出羽	9月18日	・講演「認知症情動療法について」 ・講師 医療法人東北医療福祉会 山形厚生病院 理事長 藤井昌彦氏 作業療法士 古内淳一氏 佐藤 健氏	町内会長、民生委員児童委員、福祉協力員、老人クラブ、食生活改善推進員、身障者会出羽 約45名
金井	11月19日	・講演「地域防災活動について②」～災害時の助け合い～ ・グループワーク「自分や地域で必要だと思う災害への備え」 ・講師：ウェザーハート災害福祉事務所代表 千川原公彦氏	町内会長、福祉担当副会長、民生委員児童委員、福祉協力員、地区社協理事、地区内福祉施設職員 79名
楯山	12月19日	第一部 講話 ・講演「災害に備えて、楯山地区の現状」 ・講師：山形市防災対策課 第二部 歌や三線の演奏 ・代表 大場 朗子 様	町内会役員、地区社協役員、民生委員児童委員、福祉協力員、青少年育成関係、地区内関係者等 約70名
明治	5月11日	・テーマ「人口・世帯動態から見るこれからの地域づくりとマップ更新の重要性&助けてワーク」 ・講師：山形市社会福祉協議会 地域福祉課福祉のまちづくり係 係長 山蔭 瞬	町内会役員、地区社協役員、民生委員児童委員、福祉協力員 約50名
高瀬	11月17日	・内容「第9期介護保険事業計画懇談会」 ・講師：山形市長寿支援課 ・説明「高瀬地区の現状と支えあい」 ・報告者 生活支援コーディネーター 地域包括支援センター大森	町内会役員、地区社協役員、民生委員児童委員、福祉協力員 約50名

地区	開催日	内容	参加者
大郷	3月4日	・テーマ『日頃の絆が災害から地域を守るⅫ』 - 地域での「避難所開設の行動」について ・講師：ウェザーハート災害福祉事務所 千川原公彦氏	町内会役員、地区社協役員、民生委員児童委員、福祉協力員、地区内福祉施設職員 約50名
大曽根	未実施	認知症に関する研修会・意見交換会を計画していたが、開催前に地区振興会が同内容の研修会を開催したため、内容の再検討や日程の調整が困難となり、実施できなかった。	
山寺	7月17日	・山寺地区の高齢者の現状 - 講師：地域包括支援センター大森 ・福祉マップ作成の意味と進め方 - 講師：生活支援コーディネーター ・各町内に分かれての福祉マップ作成	町内会役員、民生委員児童委員、福祉協力員、女性代表、地区社協役員 約50名
飯塚	11月24日	「高めよう見守り力」 ～消費者被害を防ぐために～ 講師：山形県消費生活センター 鈴木朗子 ・グループでの情報交換	区長、副区長、民生委員児童委員、福祉協力員、地区社協役員など43名
榎沢	8月2日	高齢者福祉保健計画住民懇談会 「いきいきといつまでも榎沢で暮らし続けるためにわたしたちができること」 情報交換会	自治会長、地区社協役員、民生委員児童委員、福祉協力員等29名
	11月9日	健康講話「健康寿命を伸ばし、一人ぼっちの高齢者をなくす地域の活動」 講師 小関文助先生・小関靖子さん 講話後、情報交換	自治会長、地区社協役員、民生委員児童委員、福祉協力員等44名
滝山	9月10日	第九期介護保険事業計画（山形市高齢者保険福祉計画）住民懇談会 グループワークテーマ：自分が地域で取り組んでいること、認知症を予防しながら自分らしく暮らしていくために取り組んでみたいこと	地区社協役員、町内会長、民生委員児童委員、福祉協力員、一般住民 約90名

地区	開催日	内容	参加者
東沢	12月14日	・「山形市避難行動支援制度について」 講師 山形市防災対策課 地域防災係長 奥山 浩行様 ・「高齢者の個別避難計画作成について」 講師 山形市長寿支援課 地域包括支援係長 鈴木壽幸様 ・グループ協議	地区社協、自治会役員、民生委員児童委員、福祉協力員、施設等 約 60 名
南山形	11月24日	「認知症と理解とつき合い方」 ～家族や隣人が認知症になった時、あなたには何ができるでしょう～ ・講演 60 分、体験 45 分 3 グループに分かれて、実施の認知症患者とのつき合い方を、3 つの部屋で体験してもらう。 ・講師 かみのやま病院 佐藤智幸様 (日本精神科看護協会 精神科認定看護師)	地区社協役員、振興協議会、福祉協力員、民生委員児童委員、地区住民、包括支援センター 76 名参加
南沼原	8月9日	テーマ「支援が必要となったとき、自分らしく暮らしていくためには」 ・高齢者福祉保健計画住民懇談会 ・南沼原地区、相談の現状について 生活支援コーディネーター 南沼原地域包括支援センター ・グループワーク	地区社協役員、町内会長、民生委員児童委員、福祉協力員世話人 約 80 名
蔵王	10月10日	「防災・減災について」～いきのこるために～ ・講演 20 分 グループワーク 70 分 ・グループワークではクロスロードゲームを行う。 ・講師 山形県防災士会 会長 梅津庸成 氏	町内会長、民生委員、福祉協力員、福祉事業所、一般住民、地域包括支援センター、地区社協、約 100 名
村木沢	1月28日	「高齢化社会と福祉」 ・講師 やまがた市民福祉会 理事長 細矢正利 氏	振興会役員、社会福祉部員、一般住民、地域包括支援センター 45 名
本沢	2月16日	本沢地区サロン代表者座談会	町内会・自治会会長、民生委員児童委員、福祉協力員、サロンボランティア、地区社会福祉協議会委員 約 60 名

地区	開催日	内容	参加者
西山形	11月15日 12月11日	はつらつ元気教室 ・「高齢者難聴への対策」 講師 新潟医療福祉大学 千葉寛之氏 ・「ラフターヨガ」 講師 小林美保氏	町内会・自治会役員、民生委員児童委員、福祉協力員、一般住民、地区社会福祉協議会役員、延べ60名

令和6年度山形市の重層的支援体制整備事業

事業名	分野	個別事業名(国)	山形市事業名等	事業実施課
包括的相談支援事業	介護	地域包括支援センターの運営	地域包括支援センター運営事業	福祉推進部 長寿支援課
	障がい	障害者相談支援事業	障がい者相談支援委託事業	福祉推進部 障がい福祉課
	子ども	利用者支援事業(特定型)	子育て支援コーディネーターの配置	こども未来部 保育育成課
		利用者支援事業 (こども家庭センター型)	こども家庭センター(母子保健機能)	こども未来部 こども家庭支援課
			母子保健相談支援事業	こども未来部 母子保健課
	困窮	生活困窮者自立相談支援事業	生活困窮者自立相談支援事業	福祉推進部 生活福祉課

地域づくり事業	介護	通いの場 (一般介護予防活動支援事業)	介護予防・日常生活支援事業のうち、地域 介護予防活動支援事業(住民主体の通いの場)	福祉推進部 長寿支援課
	介護	生活支援体制整備事業	生活支援体制整備事業	
	障がい	地域活動支援センター事業	地域生活支援事業のうち、地域活動支援 センター機能強化事業	福祉推進部 障がい福祉課
	子ども	地域子育て支援拠点事業	・市立保育所の運営管理に要する経費 ・子育て施設あ〜べ運営補助事業費 ・児童遊戯施設の運営管理に要する経費	こども未来部 こども未来課
			子育て支援ネットワーク事業	こども未来部 保育育成課
	困窮	生活困窮者のための地域づくり事業	我が事・丸ごと地域づくり推進事業	福祉推進部 生活福祉課
			地域福祉推進会議開催費補助金	

多機関協働事業	福祉まるごと支援事業	福祉推進部 生活福祉課
参加支援事業		
アウトリーチ等を通じた継続的支援事業	ひきこもり生活者支援事業 (つながりよりそいチャット)	福祉推進部 長寿支援課
	包括支援センターアウトリーチ	

重層的支援体制整備事業実施要綱

○生活困窮者支援等のための地域づくり事業実施要領(抜粋)

4 事業評価

本事業の実施主体は、本事業の実施に当たって、地域福祉計画を踏まえつつ、支援が必要な者の人数や支援の実施回数などに関する成果目標を立てるとともに、本事業による国庫補助を受けた年度の概ね3月に、学識有識者や現場有識者等第三者が参画した検証の場を設置するなどにより、当該年度における本事業の実施状況について評価を行い、補助金の実績報告の際にその内容について厚生労働省に報告すること。